

レーザースカナー ILRIS-3D

製造国:カナダ

製造会社:Optech社

購入年:2010年10月

用途・特徴・使用期間など

三次元レーザースカナーILRIS-3Dは、点群データ(座標値)と同時に画像も高精度に取得でき地上の地形測量などに利用しています。

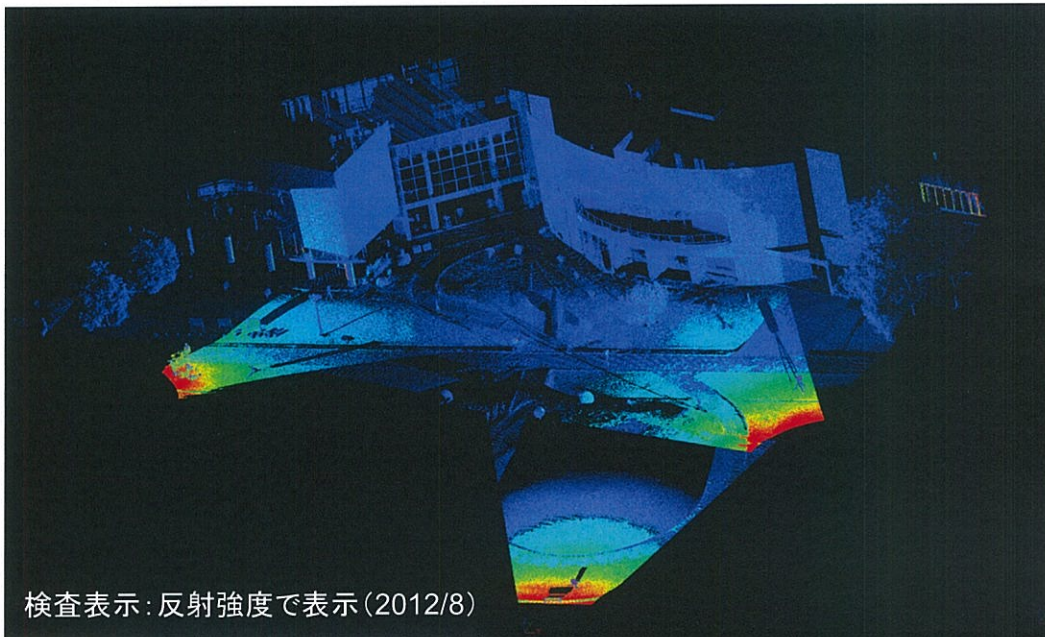
仕様・性能

測定精度 8mm/100m

最長距離 1500m

測定点数 2,500点/秒

*この機器は、第54次南極観測において、昭和基地周辺の地形測量に使用するため、10月から観測船に積み込む予定となっています。したがって、展示していません。



検査表示: 反射強度で表示(2012/8)



地球ひろば付近で観測(2012/8)



回転テーブルを付けて観測(2012/8)



テクスチャ表示: 点群取得範囲を撮影した画像(RGB)で表現(2012/8)

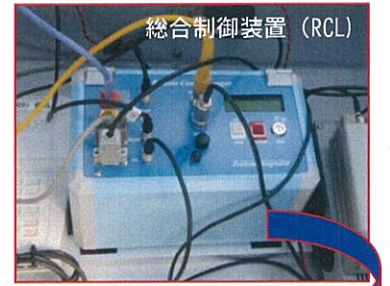
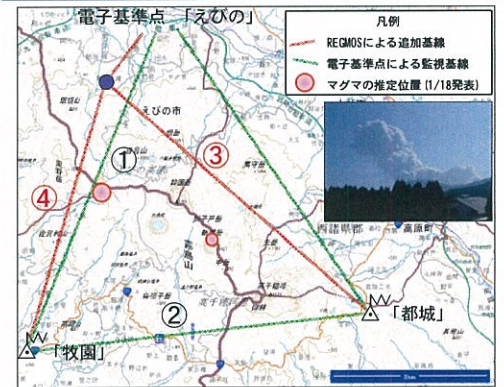
災害時のGNSS火山変動リモート観測装置 (REGMOS:レグモス)による観測

GNSS火山変動リモート観測装置 (REGMOS : レグモス) は、自律的なGNSS観測を行うことを目的として、一般の電力や電話が使用できない場所での設置や、火山活動が活発化した場合等に緊急的に設置して運用できるように開発してきました。自動復帰機能を備えた制御装置により、GNSS観測やデータ通信を自動で行っています。電力は太陽光発電でまかない、データ通信には衛星通信を利用しています。また、最新型の機器では、現地の状況を把握するため、Webカメラによる監視を行っているところもあります。

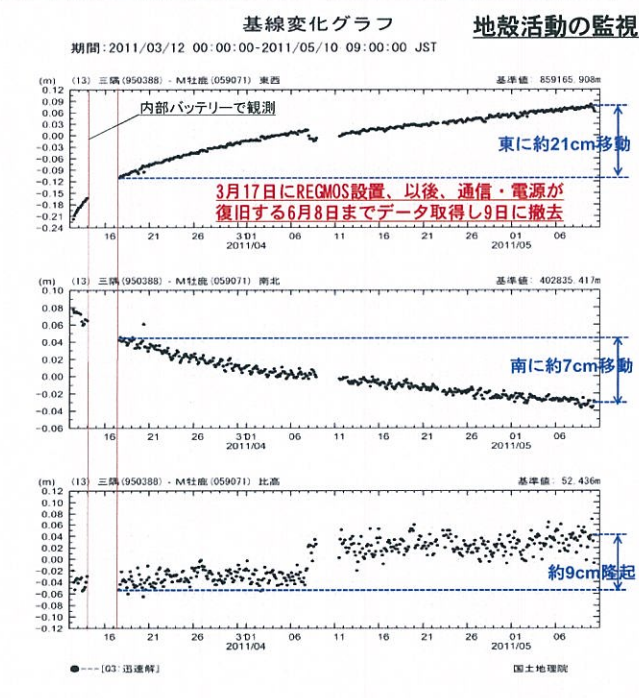
東北地方太平洋沖地震



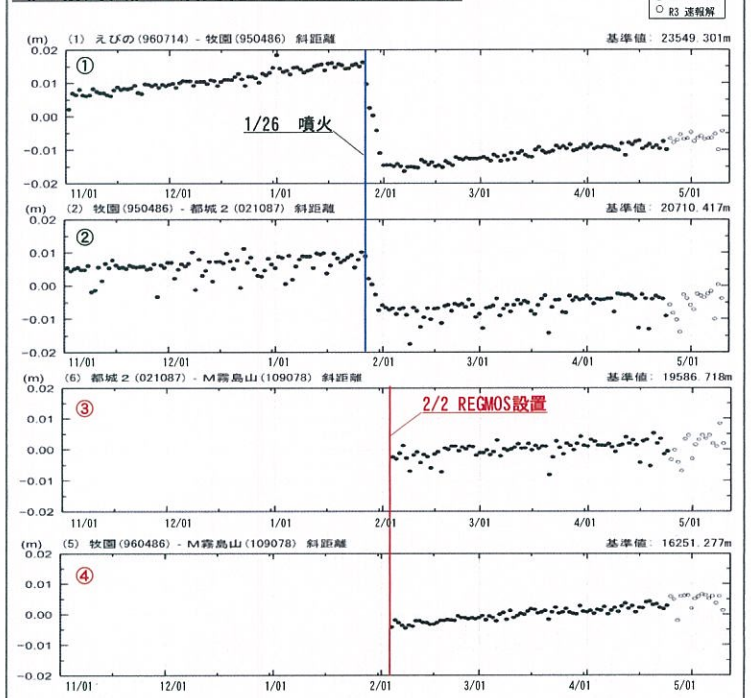
火山噴火 (霧島山)



《M 牡鹿》：地震により電力・通信の遮断された地域での

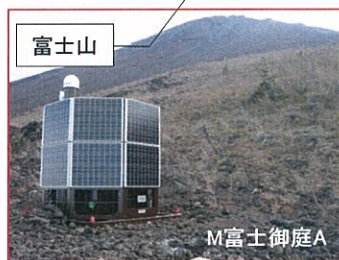
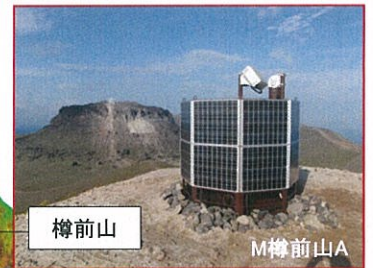


《M 霧島山》：活発化した火山活動の監視



GNSS機動連続観測点 -REGMOS(レグモス)タイプ設置状況-

2012年8月1日現在稼働中の観測点 11点



全国の活動的な火山や大きな地震の発生が予測される地域で、地殻変動を捉えるためGNSS機動連続観測点を設置し、無人で24時間連続観測を実施しています。

観測点名前のローマ字
M: Mobil (可動性な観測点)
T: Temporary (一時的な観測点)
観測点名後のローマ字
A: 移転をした観測点